

平成 29 年度
学校だより



ふぞくの風

鹿児島大学教育学部
附属小学校

第 10 号

平成 30 年 2 月 28 日 発行

新たな一步を踏み出すために

副校長 益山 富誉

2月16日(金)は、創立140周年記念行事にたっぷりと浸る一日でした。午前中の学習発表会では、4月から各学年のテーマをもとに鹿児島や附属小学校について調べて、まとめたことを子どもたちが異学年の子どもたちに発表しました。子どもたちが、自信をもって生き生きと発表する姿を見ることができました。午後からは、セレモニーに始まり、シンポジウム、記念講演、記念式典を体育館で行いました。多くの保護者や同窓会の皆様にも出席を賜り、みんなで創立140周年を祝うことができたことを大変嬉しく存じます。

時は止まることはありませんので、もうすでに150周年に向けて進んでいます。今いる子どもたちと共に取り組んでいることが、150周年に繋がっていくことを考えて一日一日を大事に過ごしていきたいと考えます。

皆様の物心両面にわたる御厚意により、子どもたちの学習環境を整えることができたり、素晴らしい記念事業を推進することができたりしたことに心から感謝申し上げます。これからも皆さんと共に、附属小の伝統を一つ一つ築き上げていきましょう。

「ちからの子」を目指す ～体育科学習・さわやかタイム～

体育科の学習では持久力を高める学習があります。また、後期に入り、朝の活動では「さわやかタイム」として、校庭(上学年は中学校、下学年は小学校)を7分間走る活動を行っております。これらは、粘り強く運動に取り組む態度や、持久力を高めることをねらっています。

そして、子どもたちが、この活動に目的をもって取り組めるように、今年度は、各学年で設定されている距離でタイムを測定します。

この活動や学習をきっかけに、子どもたちが継続的な運動への興味・関心を高めるだけでなく、夢や目標に向かって粘り強く努力する態度を育て、校訓にもある「ちからの子」を目指していきます。



【3月の主な行事】

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1日(木) 音楽発表会, 学年・学級PTA(高) | 16日(金) 卒業式(1～3年生は休み) |
| 2日(金) 音楽発表会, 学年・学級PTA(中) | 23日(金) 修了式 |
| 5日(月) 音楽発表会, 学年・学級PTA(低) | 春季休業 ～4月5日(木) |
| 6日(火) 6年生を送る会 | 26日(月) 辞任式 |
| 9日(金) 防災について考える日 | (9:10までに登校) |



【創立140周年記念行事】

● 自分たちの考えを伝え、これからの学習に生かす ～わくわく附属小学学習発表会～

午前中に行われた学習発表会では、これまで生活科や総合的な学習の時間を中心に、鹿児島の伝統・文化や自分と附属小の過去や未来等について調べてきたことを発表したり、今後の学習に生かせるようにアドバイスを聞いたりする活動を行いました。



【発表に対し質問する様子】

● 附属小は家族のつながり ～オープニングセレモニー・シンポジウム～

午後は、下野隆雄先生(本校教諭OB)指揮によるオープニングセレモニー(吹奏楽部・卒業生の合同演奏)、記念DVD視聴を行いました。

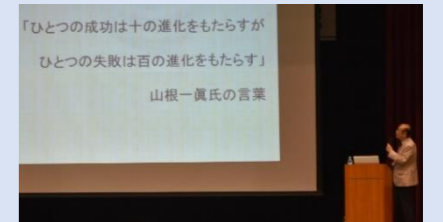
シンポジウムでは、同窓会・児童・保護者・教職員を含め「附属は家族」という言葉が参加者の共感を呼ぶ場面もありました。



【シンポジウムで附属小の思い出を語る様子】

● 約200万年受け継がれている命 ～講演会・田村省三先生～

前尚古集成館館長 田村省三先生による講演会では「人類が誕生して約200万年一度も途絶えることなく繋がっている命の大切さ」「失敗を恐れず新しい時代を切り拓いた先人の尊さ」などについて講演していただきました。



【後輩に思いを語る田村省三先生】

● さらに進化を目指して ～記念式典～

記念式典では、前田芳實学長から附属小在学当時の思い出や、諏訪秀治同窓会会長から附属小の未来への期待を込めた祝辞を賜りました。また、多くの来賓や参加をいただき、附属小がたくさんの方々のおかげによって運営されていることを子どもたちも感じておりました。



【在学当時の思い出を含めて祝辞を述べられる前田学長】

これらの行事や活動を通して、創立140周年を機にスタートしたこの学習内容や学校づくりを附属小に関わる全ての方との縁を大切にしながら今後も継続できるように工夫・改善していきたいと考えます。また、子どもの安心・安全を第一に、未来を切り拓こうと努力する子どもを支える学校であり続けてほしいという願いを多くの方から感じました。

創立140周年という伝統を大切に、新たな文化を築いていく学校運営に取り組んでいきたいと考えます。

子どもの日記や感想から

- ・生きてることがキセキだと分かり、もっと命を大切にしていきたいです。〔1年 男児〕
- ・いろんな方々の話を聞いて、これからどんな未来をつくっていくかは、私たちににかかっているのだと実感しました。〔3年 女児〕
- ・先輩たちが受け継いでくれた伝統を下学年につないでいきたいです。〔4年 男児〕
- ・先人たちは失敗を重ねながら、新しい時代を切りひらいていったそうです。私も失敗を恐れず、自分の目標に向かって進んでいきたいです。〔6年 女児〕